

平成30年度JA越前たけふ「重点指導対策」

越前しきぶ姫のブランド力を高めるとともに、農業経営の向上を図るため、「重点指導対策」を実践しましょう。

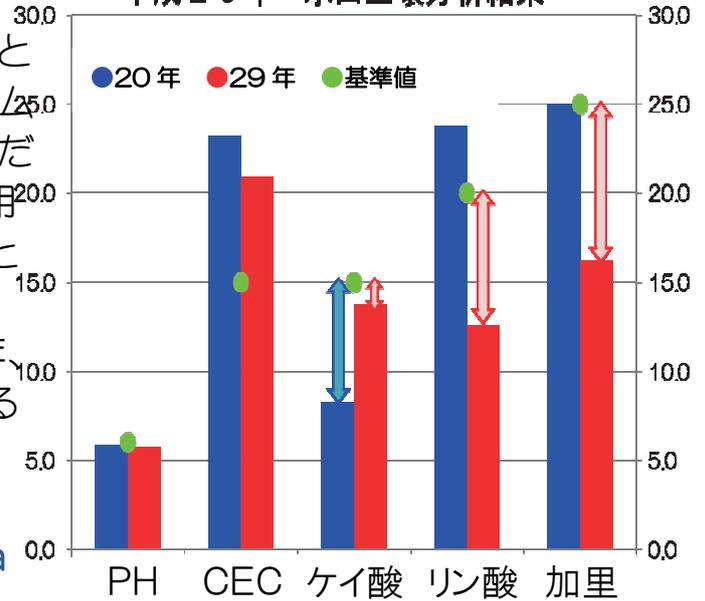
1. 収量・品質・食味向上・コスト削減対策

リン酸・加里・カルシウムの補給を

近年、水田土壌の三要素の欠乏が問題となっているため、リン酸・加里及びカルシウムを中心とした微量元素をバランスよく含んだミネラルPK(ケイフン燃焼灰)を圃場に施用し、稲作全般の収量や品質を安定させるとともに、農業生産費の削減を目指します。

平成29年度の土壌分析結果からも近年、リン酸・加里が基準値を大幅に下回っているため、ミネラルPKで補給しましょう。

平成29年 水田土壌分析結果



春耕起前 ミネラルPK 60 kg/10a

(参考)ミネラルPK試験結果

ミネラルPK試験区(最高分けつ期)のリン酸とカリの吸収量は、窒素単用区より多くなり、ようりん+カリ区とほぼ同等の吸収量となりました。(図1,2)これらのことから、ミネラルPKのリン酸やカリの肥効はようりんや塩化カリと同等となりました。

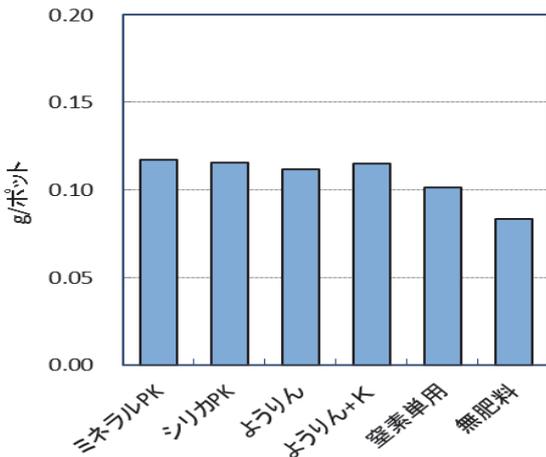


図1 水稻のリン酸吸収量

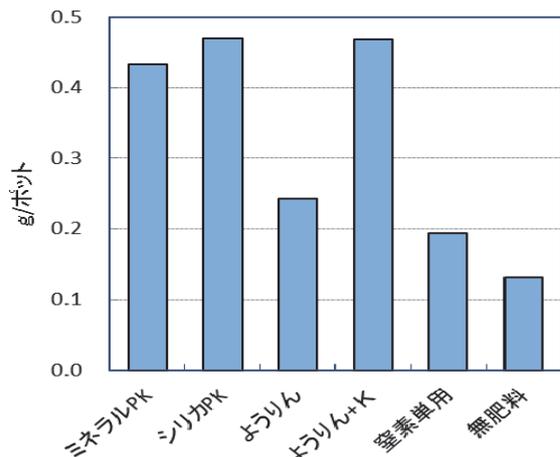


図2 水稻のカリ吸収量

(福井県農業試験場調べ)

春耕起前にミネラルPKを施用した区は施用しない区に比べ収量が多くなり、タンパク質含有量も低くなりました。

試験区	(kg/10a, %)			
	収量	粗玄米重	精玄米重	タンパク質
ミネラルPK有	804	642	580	5.7
ミネラルPK無	741	583	546	6.3

